

浦幌市

安東茉莉

1. 概要

1.1 位置

浦幌市は、北海道十勝支庁管内の際東端に位置する。地形はゆるやかな丘陵地と河岸段丘からなり、東は丘陵山脈、南は太平洋に面した南北に長い町で、山林が 72.4%を占めている。行政面積は全国市町村で 37 番目の 729.64k m²である。町の中央部を延長 87km の浦幌川が流れ、下頃辺川、静内川、浦幌十勝川と合流して太平洋につながっている。この川のおかげで、地味良好な耕地がつくられ、自然豊かな町となっている。

図 1 浦幌市



出所: yahoo 画像検索

1.2 町名の由来

浦幌町とは、アイヌ語の「オーラポロ」が転訛して浦幌となり「オー」は川尻、「ラ」は草の葉、「ポロ」は大きいという意味で「川尻に大きな葉が生育するところ」とされている。

1.3 浦幌町民憲章

表 1 浦幌町民憲章(前章)

わたしたちは、豊かな資源に恵まれ、雄大な太平洋にのぞむ十勝に浦幌川の清き流れと、たくましい開拓精神をうけつぐ和協浦幌の町民です。	
この町の限りない発展をねがい、よりよい町民となるためこの憲章を定めます。	
1 章	元気で働らき、楽しい人生を築きましょう。
2 章	としよりを敬い、こどもを愛し明るい家庭をつくりましょう。
3 章	きまりを守り、明るく住みよい社会をつくりましょう。
4 章	自然の恵みに感謝し、産業の発展につとめましょう。
5 章	香り高い郷土の文化をつくりましょう。

出所:浦幌町 HP

開基 70 年を記念して、浦幌の町に町民憲章が制定された。これは、生活信条を目標つくられている。この生活信条を実現させるためには、真に町民自らの声を生み出し、しかも個々の意志に密着するものでなければ、信条を確立することができない。そして、新しい時代に適応した町づくりを実現し、子孫の繁栄する未来を築いていくためには、豊かな人間性を培い、開拓の先人たちの気概と実行力、あわせてお互いのこころのつながりを持ち、

互いに共通の生活目標をもち、誇りをもって、浦幌の先祖と子孫に対する町づくりの責任を果たしていく必要がある、と浦幌町の代表者は考えている。以上は、憲章の一部である。

1.4 浦幌の歴史

明治2年、十勝国十勝郡に属し、同年の静岡藩の支配を経て、明治4年、開拓使の直轄となった。この頃、当地域にはベツチャロ、トカチ、オヘコハシ、アイニウシ、オホツ、ヲサウスの6ヶ村が置かれ、明治13年、十勝外四郡戸長役場を独立させ、生剛の地に戸長役場を設置した。この間岐阜農場などの農場と団体、単独入植が相次ぎ本格的な開墾が始まった。明治36年、浦幌～釧路間の鉄道が開通し、浦幌駅も開業したことから役場を浦幌に移転、本格的な村づくりが始まり、明治39年4月1日には、二級町村に指定され、生剛村、愛牛村をもって生剛村となり、明治45年には、浦幌村と改称した。1954年、町制を施行して浦幌町が成立、1995年、大津村の東部を編入し現在に至る。

表2 年表	
平成元年(1989)	12月、浦幌町民球場完成
平成4年(1992)	6月22日、総合スポーツセンター落成式 12月8日、十勝河口橋開通式
平成5年(1993)	7月8日、スイミングプール完成
平成6年(1994)	11月4日、アイスアリーナ落成式
平成7年(1995)	3月28日、特別養護老人ホーム「はまなす園」落成式
平成9年(1997)	6月2日、保健福祉センター開設 6月4日、コスミックホール落成
平成10年(1998)	3月22日、浦幌大橋渡橋式
平成11年(1999)	6月4日、開町100年記念式典 12月8日、教育文化センターオープン
平成12年(2000)	7月、浦幌浄水場完成 11月、リサイクルセンター完成
平成13年(2001)	11月、上浦幌中学校新校舎・屋内運動場落成
平成14年(2002)	10月、森林公園展望台完成
平成18年(2006)	8月、活平地区多目的施設完成
平成20年(2008)	2月、厚内トンネル（道道直別共栄線）完成
平成21年(2009)	6月、道の駅うらほろオープン
平成23年(2011)	3月、うらほろ留真温泉オープン

出所:浦幌町 HP

図 2 町章



出所:北海道浦幌町 HP

1.5 浦幌町の町章

これは、外側の太い線で十勝国、内側の細い線で十勝郡の「十」の頭文字を意味し、中心に躍動を続ける大浦幌町を象徴し全体を通して十勝郡浦幌町を示すデザインになっている。

表 3 浦幌町歌

小原四郎 作詞 林 喬木 作曲

1. 山青く 河清し とこしえの若さ 花と咲く うらほろ 人の和と文化をそえて
あらたに明けるわが町
2. 風かほり 野は稔る ひたすらの心 幸をうむ うらほろ 産業のすべてをあげて
とどろき進むわが町
3. 空高く 星さやか あめつちの恵み 限りなき うらほろ 日に月に光をまして
いやさら伸びるわが町

出所:浦幌町 HP

1.6 町の花 はまなす

町内では豊北原生花園などに大群落をつくり高さ 1～1.5m で枝にはトゲがあるバラ科の小低木である。日本の北部の海岸砂地に自生するが、特に北海道のハマナスは、石川啄木の歌や文学にあらわれ親しまれている。幹枝にとげを密生し、夏、紅色五弁の美花の芳香がすばらしい。町の花となって以来、白花ハマナスも植えられるようになった。花は淡紅色であるが、まれに白色の突然変異種もある。花からは良質の香水、実からはジャムがとれる。

画像 1 はまなす



出所:Yahoo 画像検索

1.7 町の木 ナナカマド

落葉小高木で樹高は 15m 内外、葉は羽状複葉で 9～15 枚の小葉を持つ。小葉は長楕円形で、先がとがり、縁には低くて鋭い鋸歯がある。7 月になると小形白色五弁の花を群がりつける。また、淡赤から深紅に至る実と紅葉は、北国の秋を楽しませてくれ、ツグミなど渡り鳥が群れをなしてついばむ。

画像 2 ナナカマド



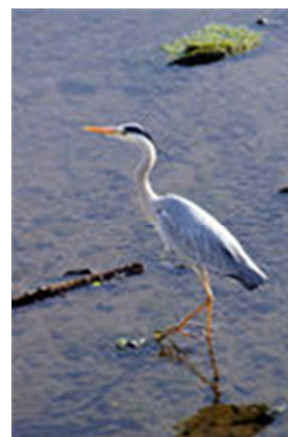
出所:Yahoo 画像検索

1.8 町の鳥 アオサギ

湿地の大木に集団で営巣するアオサギは、上面は濃い灰色で下面は白い。くちばしと足はともに長くて白く、首を S 字形に曲げるか、ゆるめてゆっくり羽ばたいて飛ぶ。毎年 3 月中旬頃から北海道に渡来し、4～6 月頃に高い樹の上に小枝を集めて、60～70cm の巣をつくり、青緑色の卵を 3～5 個産卵する。浦幌町の新吉野駅から北西 2 km にある湿地帯、ヤ

チハンの木林に、以前は 200 羽もこの営巣があり、浦幌川などで捕食している姿が見られた。冬は、九州以南に渡り、飛ぶときに長い首を S 状に縮め脚を尾端から長く出しているのが特徴。

画像 3 アオサギ

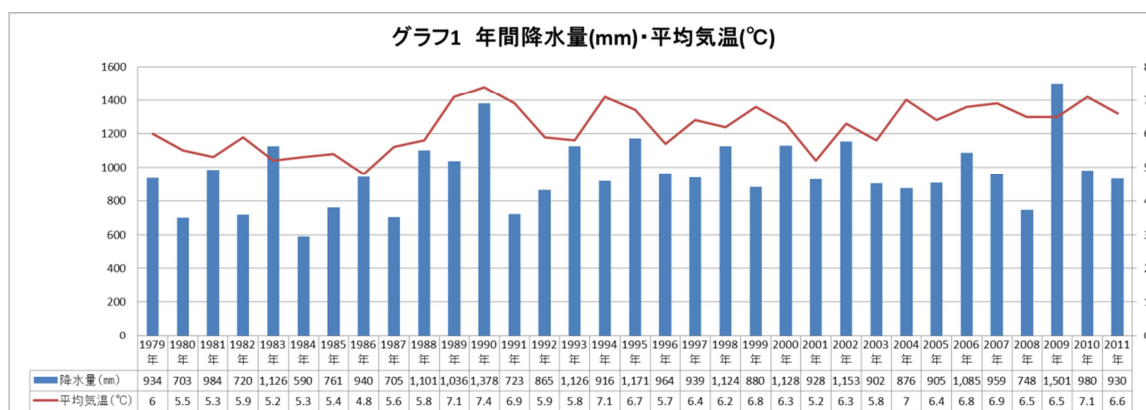


出所:Yahoo 画像検索

1.9 年間の降水量と平均気温

毎年の気温は 6 度前後である。32 年間の中で、平均が 7℃ 以上になったのは、5 回しかなく、5℃代が 14 回、6℃代が 12 回、4℃代が 1 回となっている。1986 年の気温が一番低くなっていて、4.8℃となっている。1990 年が一番高くなっていて、7.4℃となっている。2005 年からは平均気温が上昇傾向にあり、2010 年までの 5 年間増え続けている。

一番降った量が少ないのは、1991 年の 723mm、一番多く降ったのが、2009 年で 1500.5mm となっている。年によって、だいぶばらつきがあることがわかる。たとえば、2008 年から 2009 年には、748mm から 1500.5mm と 2 倍近く増えている。1000mm を超えることが多い。800mm 未満になることは、まれであり、2 回しかない。

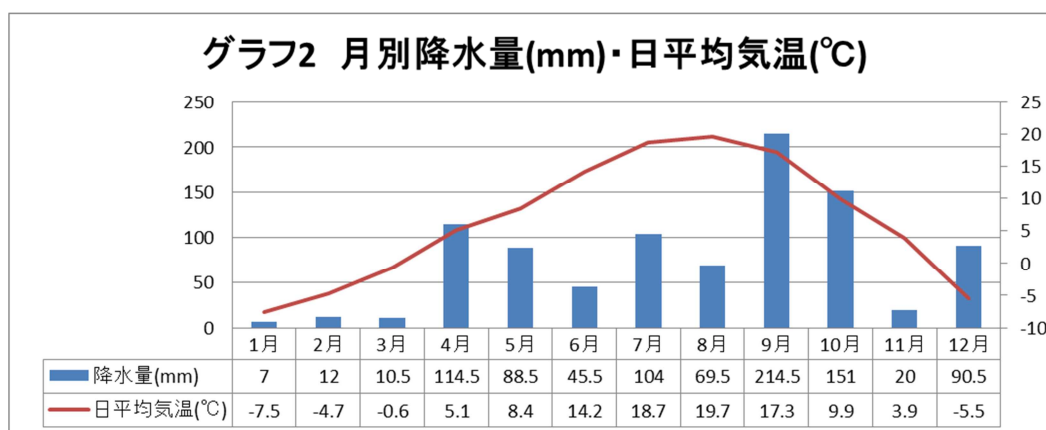


出所:気象庁 HP

1.10 2011 年度の月別の降水量と平均気温

降水量は、月別でみると、9 月が一番多く、214.5mm となっている。9 月だけが飛びぬけて多くなっていて、2 番目に多い 4 月の 114.5mm の約二倍になっている。冬の間の 11 月、1 月、2 月、3 月は降水量が少なくなっているのに、12 月だけは 90.5mm と、他の冬の月に比べ、特に高くなっている。

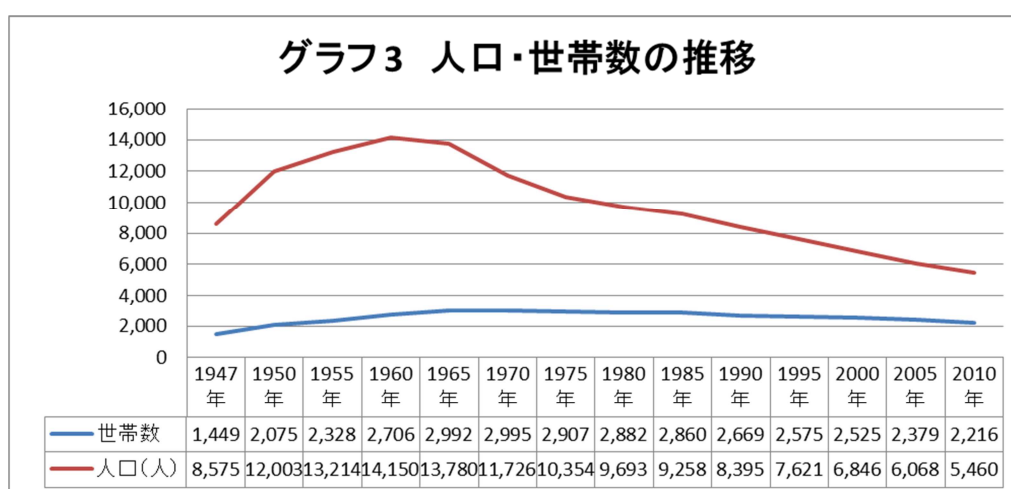
月別の平均気温では、月の平均が一番高いのは、8 月だが、19.7℃と一番高くても 20℃ までにはならない。10℃を超える月自体が 4 か月で、マイナスになる月が 4 か月あり、一年を通して気温が低い地域であることがわかる。



出所:気象庁 HP

2.人口・世帯数の推移

浦幌の世帯数は、1947年から1965年までの間に、約6,000と大きく増加し、1965年にはピークを迎え、2992戸となっている。しかし、1965年をピークに減っていき、2010年には約400減少し、2216戸となった。世帯数は、1965年の13780人をピークにゆるく減っていき、2010年では約半分の5460人となっている。



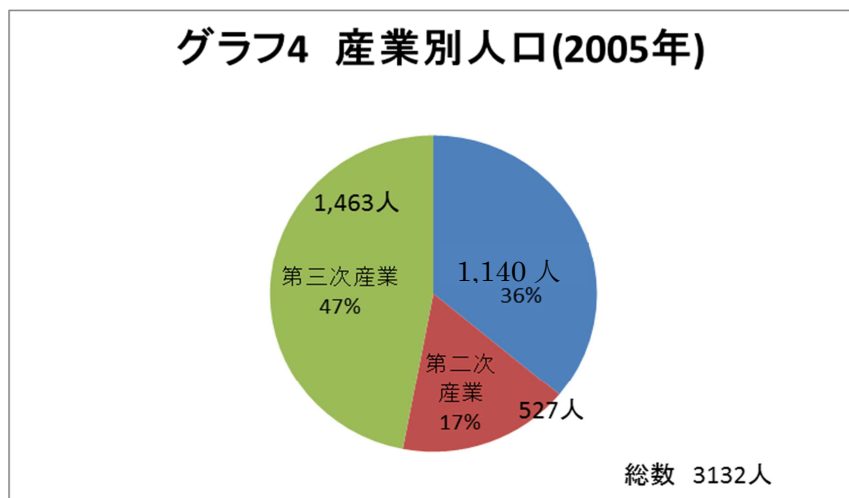
出所:北海道浦幌町 HP

3. 産業

3.1 産業別人口

産業全体の総人数は、3132人である。第三次産業が、1463人で47%と約半分以上を占めている。漁業が有名なため、次に第一次産業がきていて、1140人で36%となっている。浦幌町は、牧畜や漁業が活発なため、多いと思われる。最後は、第二次産業だが、527人で二番

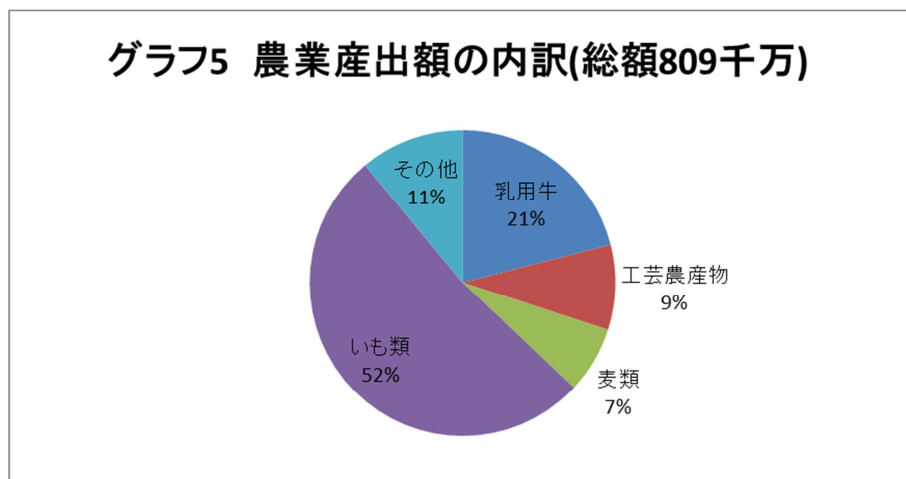
目の第三次産業の二分の一になっている。第一次産業と第三次産業の差が約 300 人であることから、パーセント上は大きく離れているように感じるが、実際には、大きな差はない。



出所:北海道浦幌町 HP

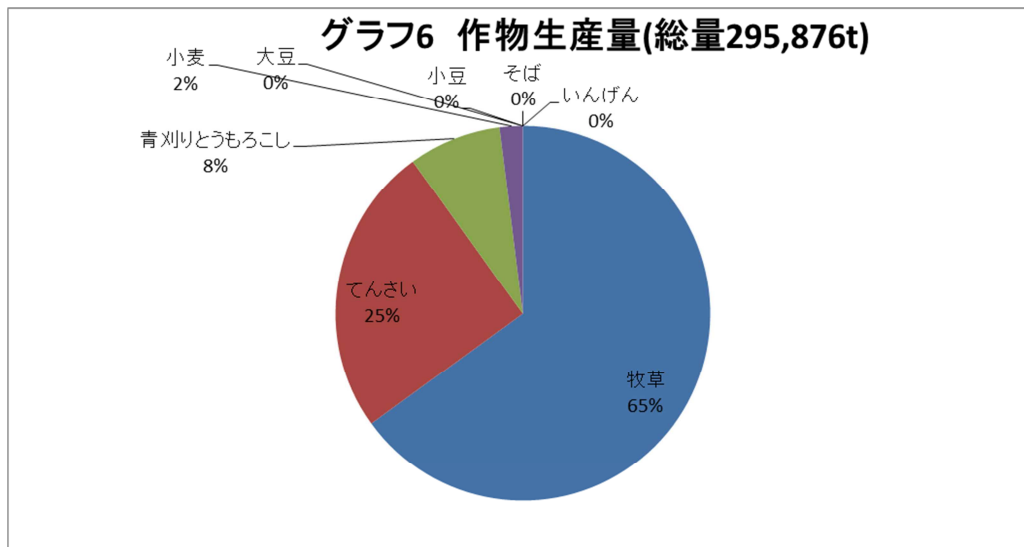
3.2 農業

イモ類が多くつくられており、52%となっている。次に多いのは、乳用牛だが、21%で、イモ類の半分以下であり、イモ類が断トツであることがわかる。その後、工芸農産物と麦類が続いてはいるが、それぞれ 9%、7%とあまり主流では作られていない。稲作は行われていない。



出所:農林水産省 HP

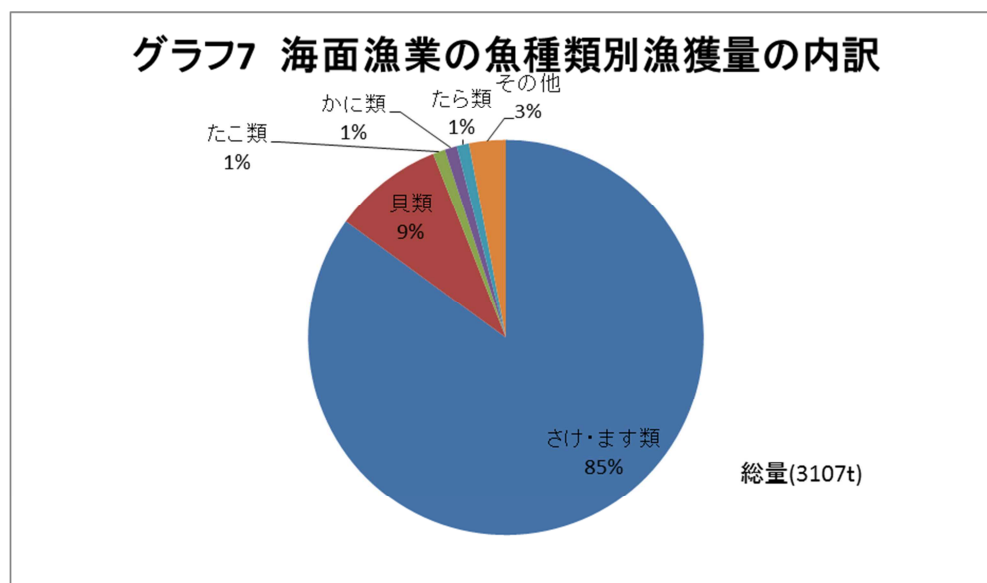
牧草が 65%になっている。これは、グラフ 5 から読み取れるように、牧畜が活発であるためだと思われる。と豆類や、麦類はほとんどつくられておらず、0%となってしまう。2 番目にくるのは、てんさいで 25%となっている。



出所:農林水産業 HP

3.3 漁業

浦幌町での漁業は、さけ・ます類が大半を占め、約 85% (2656t) となっている。続くのは、貝類の約 9%(291t)であるが、さけ・ます類に比べると、かなり少ない。他の、たこ類、かに類、たら類はそれぞれ約 1%であり漁獲されていないことがわかる。以上より、浦幌町の漁業の主流は、さけ・ます類であると言える。

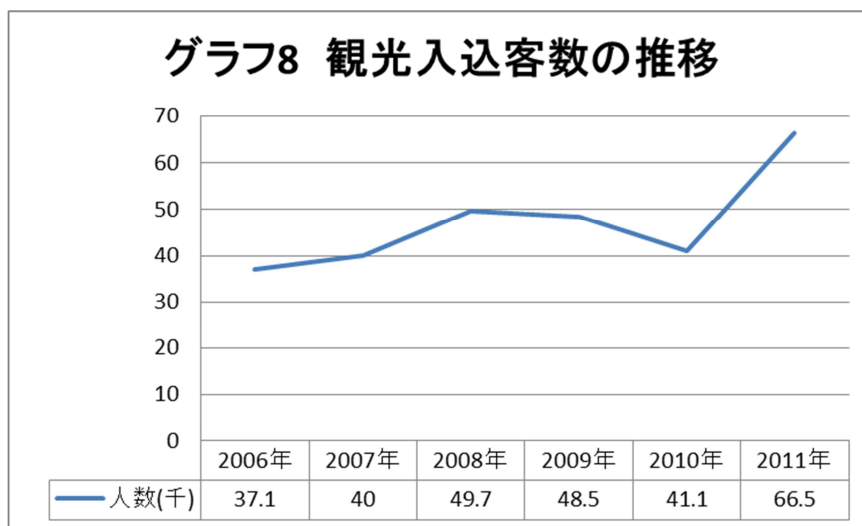


出所: 農林水産省 HP

4. 観光

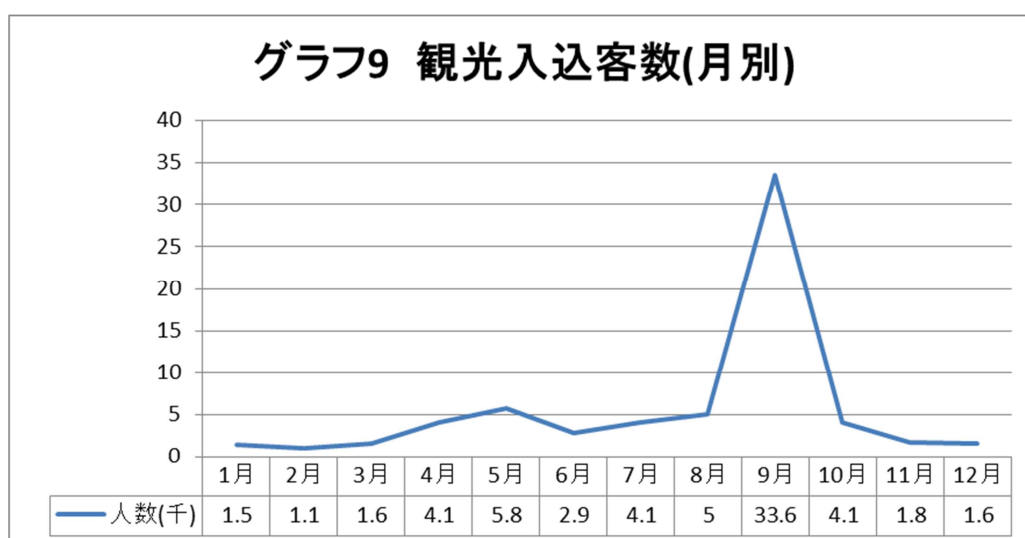
4.1 観光入込客数(年間推移)

2009 年、2010 年は 2 年続けて減っているが、2011 年には、66.5 千人と、前年の 41.1 千人を大きく上回った。5 年間で 29.4 千人増加していて、40 千人代が続いていたが、2011 年で、60 千人を超えた。



出所:北海道庁 HP

以下は、月別のグラフ。9 月だけが、飛びぬけて高くなっており、33.6 千人の観光客が訪れている。11 月から 3 月の間は、冬ということもあって、観光客数ものびず、2 千人未満となっている。5 月は、9 月の次に高くなっている。これは、5 月にはゴールデンウィークがあるためだと思われる。6 月は、暖かくなってくる他の月に比べ、4.1 千人と少なめである。これは、6 月には、連休がないためであるだろう。



出所:十勝総合振興局 HP

4.2 留真温泉

留真川沿いの山中に、浦幌町営の日帰り入浴施設「うらほろ留真温泉」がある。温泉施設は加温かけ流しで、男女別に内風呂・露天風呂・サウナ風呂を備える。美肌のお湯として有名。付設のコテージでの宿泊も可能となっている。また、予約制の家族風呂には、体が不自由な人のためのリフト付き浴槽が完備されている。営業時間は 11:00 から 21:00 までとなっている。年中無休で大人 500 円、子ども 300 円である。効果は、浴用が、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、痔疾、慢性消化器病、慢性皮膚病、疲労回復、健康増進、きりきず、慢性婦人病、冷え症など。飲用は、糖尿病、痛風、便秘である。

画像 4 留真温泉



出所:Yahoo 画像検索

4.3 豊北原生花園

太平洋沿岸の砂丘に広がる自然の花畑。6 月から 9 月にかけて、ハマナスやコケモモ、クロユリなどの高山植物 300 種余りが咲き乱れ、短い北の夏を彩る。ワタスゲは、6 月上旬～6 月下旬、ハマエンドウは、6 月中旬～7 月中旬、ハマニガナは、6 月中旬～7 月中旬、ヒメイズイは、6 月中旬～7 月上旬、マイズルソウは、6 月中旬～7 月中旬、町の花であるハマナスは、6 月下旬～8 月上旬、コケモモは、6 月下旬～7 月中旬、エゾカンゾウは、7 月上旬～8 月中旬に、それぞれ楽しめる。食堂、売店は設けられていないが、一年中、終日まで行くことができる。

画像 5 豊北原生花園



出所:Yahoo 画像検索

4.4 うらほろ森林公園

国道 38 号線沿いに広がるうらほろ森林公園は、総面積 120ha の広大な自然あふれる冒険王国となっている。オートキャンプ場、パークゴルフ場、フィールドアスレチック、遊歩道などがあり、子供から大人まで、一日遊んでも遊びきれないほどである。利用期間は、4 月 29 日～10 月 31 日。公園内には、林間キャンプ場、オートキャンプ場、バンガローも完備され、夏になると大勢のキャンパーで賑わう。森林公園

画像 6 うらほろ森林公園



出所:北海道浦幌町 HP

内に位置するシンボルモニュメントはカリヨンの鐘がついた噴水。きれいな音色が心をなごませてくる。水遊び場も設けられていて、子供たちも安心して遊べる。ウグイ・カジカなどの小さな魚が泳いでいる。毎年9月第4日曜日には、「ふるさとのみのり祭り」というイベントが設けられ、秋の五穀豊穡を祝っている。町の特産品があたるもちまき(みのりまき)や生きた秋さけの掴み取り、人気歌手の歌謡ショーなどの催し物がたくさんある。農産物、海産物など町の特産品即売会や、秋の味覚いっぱいのバザーなど実りの秋を家族で楽しむことができる。

5. 有名人（吾妻ひでお、あづまひでお）

浦幌町出身の漫画家。1950年2月6日が誕生日。ジャンルは、ギャグ漫画とSF漫画。『ふたりと5人』『やけくそ天使』『オリンポスのポロン』『不条理日記』『スクラップ学園』『ななこSOS』『失踪日記』などが代表作。低迷期には、2回失踪している。さらには、アルコール依存症にもかかっている。第10回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第37回星雲賞ノンフィクション部門などの賞をとっている。

6. 特産物

6.1 農園の特産品

十勝うらほろ高橋農園では、ハッピーベリードリンク、ジャム(ラズベリー・かぼちゃ・キウイ)が売られている。おかだ農園では、黒豆紅茶、食べる黒豆茶、おつまめ(黒豆ドン・青大豆ドン)、豆類各種が売られている。

画像7 ハッピーベリー
ドリンクとジャム



6.2 魚介類の特産物

出所:Yahoo 画像検索

漁業が活発な浦幌町では、魚介類の特産物がある。(有)山本商店では、鮭とば、鮭の味噌漬、たこ、カレイ、ホッケ、さんまなどが売られている。(有)十勝太水産は、秋鮭、いくらを売っている。ふりかけもあり、浦幌フリーズドライでは、えび、しゃけのふりかけが売られている。

参照 HP

北海道浦幌町 HP <http://www.urahoro.jp/>

北海道 HP www.pref.hokkaido.lg.jp/

総合振興局 HP http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/h23simokoi_irikomi.pdf

わがマチ・わがムラ <http://machimura.maff.go.jp/>

気象庁 HP <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>